



～夏休み明け、新型コロナウイルス感染症対策の徹底について～

8月27日（金曜）に夏休みが明け、再び学校生活が始まりました。感染力の強い変異株（デルタ株）の拡大により、新潟市においても特別警報が発令されている状況でのスタートとなりました。

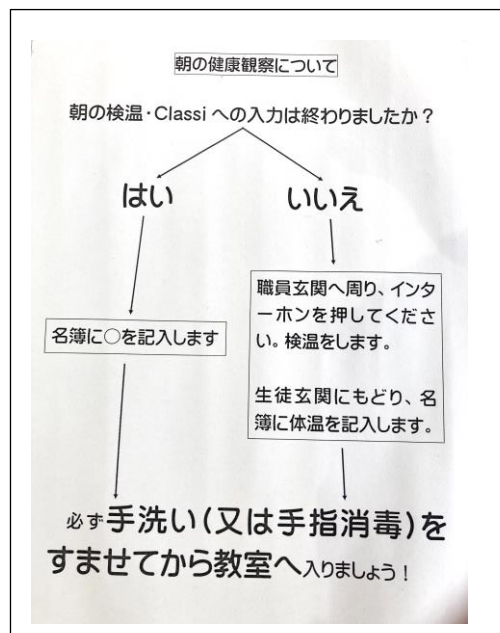
夏休み明け初日の生徒の様子を、各学年主任の先生に確認したところ次のような声が聞かれました。

- 夏休み前よりも大声での会話なども少なく、おとなしい感じだった。
- 廊下でのおしゃべりは、声の大きさは控えめだった。
- ランチルームはとても静かだった。
- 食事が始まると黙食できていた。
- 食事が始まるまでは私語があった。
- 体育の着替えはスムーズだった。
- 活動中、用具を使用した後、手指消毒をしっかり行っていた。

多くの生徒が感染拡大を防ぐために意識して生活している様子が伺えました。一方で、健康観察・検温を忘れたり、保護者が入力したかどうかを把握できていなかったりする生徒もいました。「学校にウイルスを持ち込まない」ために、ひとりひとりが今一度気を引き締めて行動して欲しいと思います。



朝、生徒玄関で、検温とClassiへの入力を確認しています。検温を行いその記録を残すことは、「自分自身」そして「周囲の人」、お互いを守ることにあります。欠かさずに行いましょう。



8月30日（月曜）の朝には、臨時全校朝会を放送で行いました。校長先生の話の後、養護教諭から、感染予防の3つの原則などについて話がありました。

～保健室の先生の話～

保健室より新型コロナウイルスによる感染予防についてお話をします。今までの繰り返しになる部分もありますが、聞いてください。

まず、感染症の予防には3つの原則があることを知っていますか。保健の授業でも習います。

1、感染源を絶つことーウイルス自体を除去すること 2、感染経路を絶つことーウイルスの侵入を防ぐこと 3、抵抗力を高めることー規則正しい生活をしてウイルスに負けない体作りをすることです。

この3つの感染予防の原則の中で新型コロナウイルスに対して最も大切なのは1つ目の感染源を絶つということです。

集団生活を送っている学校では、特に朝の健康観察、検温が重要です。朝、熱がある、風邪の様な症状がある場合は無理をして登校せずお休みをしてください。ご家族のかたに発熱などの症状がでた場合も同様です。

今はクラッシーの入力をしてない場合、玄関で検温をしてから校内に入るのを徹底しています。

2つ目、感染経路を絶つことについてです。これは手洗いが有効です。WHOのガイドラインでは20秒程度時間をかけて洗うことが推奨されています。時間がとれないときは、アルコール消毒も有効です。手洗いはタイミングが大事。登校後、そして、ランチの前はしっかりと忘れずをお願いします。ランチの前は換気も大事です。教室の空気を入れ換えてからランチにしましょう。

そして、手洗いと同じく大切なのはマスクの着用です。もう定着していますね。ただ熱中症の心配がある場合は外してください。しかし、マスクを外す場合は感染のリスクが高まることを忘れないように。もちろんマスクを外したらおしゃべりはしません。

最後に、3密の回避です。理想はゼロ密です。県内でも密を避けようとした屋外でのバーベキューでのクラスターの発生報告がありました。つねにソーシャルディスタンスの確保を意識して行動しましょう。一つの密でも危険だと言われています。

夏休みがあげ、このコロナウイルスとの戦いは、いったいいつがゴールなのか見えないままの学校のスタートとなりました。これまでの常識が通用せず、不安なことも多くあると思います。「ただ、これくらいなら大丈夫」というその隙間からウイルスは近づいてきます。

高志中等の生徒そして関わる職員みんなで一つのチームとなり、一人でも、感染者や濃厚接触者を多くさせないという気持ちで学校生活を送っていきましょう。